

当館は明石駅からほど近く、明石海峡を望む高台に位置しています。明石の歴史と文化を「自然環境と人々の暮らし」と題して8つのテーマで紹介する常設展示のほか、年3回の特別展と年4回の企画展を開催しています。また、ボランティアによる十二単・鎧の着付けも行っています。

展覧会スケジュール

4/16(土)～5/29(日)

春季特別展

生頼範義展 THE ILLUSTRATOR

―スター・ウォーズ、ゴジラを描いた巨匠の軌跡―

明石市が生んだ世界的イラストレーター生頼範義。本展覧会では、映画「スター・ウォーズ」「ゴジラ」のポスター、平井和正「幻魔大戦」、吉川英治「宮本武蔵」の小説のイラスト、有名人の肖像画、レコードジャケット、商品広告等、1962年にイラストレーターとしての活動を開始し、2011年に病に倒れるまでの50年間で、彼が遺した奇跡とも言える数の作品の中から、特に代表的な作品を展示します。

ジョージ・ルーカスが、映画「スター・ウォーズ／帝国の逆襲」のイラスト製作を熱望し、作家 小松左京が「これが日本人の描く画なのか?」と、その作品を見て驚嘆したという、生頼範義にしか描けない圧倒的な世界観を、是非体験してください。

6/11(土)～7/10(日)

企画展

郷土作家シリーズ

石田一二のみた風景 ―洋画家の旅路―(仮)

今年の郷土作家シリーズは、洋画家・石田一二(1924―1998)の作品を紹介します。石田一二は明石に生まれ、教壇に立つ傍ら、郷土明石の風景をはじめ、ヨーロッパや東南アジア、中国などをめぐり、運河や港といった水辺の風景を多く描きました。本展では油彩画を中心に、明石各所を描いたポスターなども展示します。絵画を通して、石田一二が旅した世界と、過ぎし日の明石の姿にふれてみてください。

7/23(土)～9/4(日)

夏季特別展

江戸の遊び絵づくし

江戸時代にはじまった浮世絵は、美人画、役者絵、風景画など、現代のテレビのように娯楽や情報源として、たいへんな人気を博しました。その後、大人も子供も目で遊べる、視覚の遊びとして「遊び絵」が生まれました。猫や狸などの動物たちで人や世の中をあらわした「擬人画」、クイズやトンチをきかした「判じ絵」・「文字絵」、宴会芸のお手本としても利用された「影絵」、たくさんの人が集まって人をあらわした「寄せ絵」など、ウィットとユーモアにとんだ世界が、江戸庶民に人気のアイテムとなりました。

本展は、葛飾北斎、歌川広重、そして人気の歌川国芳をはじめとする「江戸の遊び絵」約150点を7つのコーナーにわけ、今も変わらぬおもしろ浮世絵づくしでご紹介いたします。浮世絵ファンはもちろん、はじめて浮世絵をご覧になる方も、お愉しみてください!

9/17(土)～10/16(日)

企画展

明石藩の世界(仮)

博物館には近年寄贈を受けたものをはじめ、貴重な明石藩関連資料が数多く収蔵されています。その中から、美術工芸品や古文書などを展示し、最新の調査研究成果を紹介いたします。実物が語る歴史と、新たな事実によって織りなされる明石藩の世界をお楽しみください。

11/3(木)～12/4(日)

企画展

発掘された明石の歴史展

～明石の中世Ⅱ～

今年で24回目になる「発掘された明石の歴史展」は、昨年の「明石の中世」に続き、「明石の中世Ⅱ」と題し、中世城郭を取り上げて、室町時代から安土桃山時代の明石を紹介します。戦乱の時代、各地では城郭が築かれ、戦いに備えていました。明石地域では、枝吉城、船上城、魚住城などがあったことが分かっています。その城跡から出土した資料を元に、かつての明石の姿に迫ります。遙かな時を経て、地中より明かされた歴史をご堪能ください。

1/4(水)～2/5(日)

新春特別展

艶美の競演

―東西の美しき女性 木原文庫より―

木原文庫氏が所蔵する日本画コレクションより、代表作81点を選抜し、紹介する特別展を開催します。

第一部の「艶美の競演―東西の美しき女性」では、東京の錦木清方と大坂の島成園の作品を中心として、上村松園、北野恒富、木谷千種らの作品57点により、東西日本画における女性表現の艶やかさを比較して、それぞれの魅力を探ります。

また、第二部の「近代日本画の名手」では、横山大観、竹内栖鳳、富田溪仙、橋本関雪、榊原紫峰、土田麦僊らの歴史画、花鳥画、風景画24点により、近代日本画の名手が形成した大きな流れを辿ります。

少年期より近世から近代に至る文学に親しみ、この時代を彩った文学者の直筆資料や画家の作品の蒐集に努めてこられた木原氏のコレクションは「木原文庫」と称され、一部は、錦木清方展や島成園展などですでに紹介され、高い評価を受けています。

木原文庫の逸品を一堂に会して、コレクターの一貫した美意識に触れ、一人でも多くの方に心地よい共感をもたすことができれば幸いです。

2/12(日)～3/26(日)

企画展

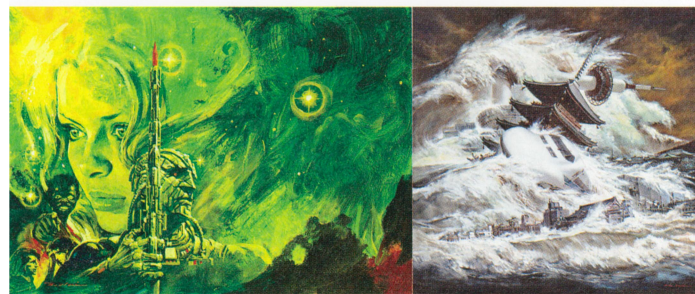
くらしのうつりかわり展

今では大きく様変わりした昭和時代のくらしの様子を、当時の道具や写真などで振り返ります。昔の道具や遊びの体験もでき、知る世代にはなつかしい、知らない世代はわくわくする、昭和レトロが学べる展覧会です。

※本展覧会は小学校の社会科・総合学習の参考展として、毎年多くの学校観覧をいただいています。見学申し込みは9月頃に開始予定です。詳しくはお問い合わせください。

常設展

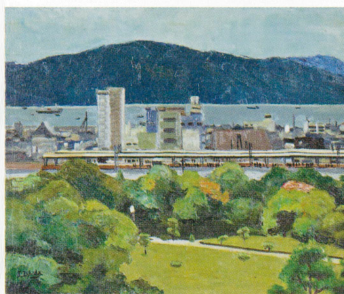
明石の歴史と文化を「自然環境と人々の暮らし」と題して、「明石のあけぼの」「大昔の明石」「畿内への入り口・明石」「明石の焼き物」「明石の農業」「明石の漁業」「明石城と城下町」「のびゆく明石」の8つのテーマで紹介しています。



「幻魔大戦」(平井和正) KADOKAWA 1980.3 ©生頼範義

「日本沈没」京都沈没/2006.7
©2006 映画「日本沈没」製作委員会

1



石田一二「明石海峡(公園より淡路島を望む)」
昭和40(1965)年

2



「新吉原大なまずゆらひ」

3



船上城跡

5



橋本関雪「冬野」制作年不詳

6